



あぶしに Mirai

発行 つくばみらい市商工会
 〒300-2341 つくばみらい市福田671-2
 編集発行人 山野井 周一
 会員数 789名
 TEL 0297-58-1700
 FAX 0297-58-7969
 E-mail info@miraishoko.com
 HP https://www.miraishoko.com

商工会青年部の力

商工会青年部は、令和6年能登半島地震の支援物資を、長野県諏訪市に設けられた物流拠点にお届けしました。

この活動は、全国商工会青年部連合会からの支援要請に基づき、染谷部長の呼びかけと佐藤新築ブロック長の働きかけにより実現したものです。両氏は震災直後から県内の各支部と連携し、被災地に負担のかからない支援のあり方を模索してきました。

1月初旬、刻々と変わる状況への対応に現地が追われる中、支援物資を直接届ける事は、被災地の負担になると考えられました。そこで、急ぐ気持ちを抑えつつ、まずは被災地以外の場所に物流拠点を設置されるのを待つことに決めました。また、各々が個別に支援物資を拠点へ送ることの非効率さと近年の物流コストの高騰も踏まえ、県内の支援物資を一旦つくばみらい市へと集めることにしました。そして佐藤新築ブロック長（株）サトー運輸代表が、自社のトラックで届けてくれました。声掛けからわずか数日でしたが、遠くは北茨城や鹿島など、

県内各地から様々な物資が集まり、13トトラックは荷台も助手席も一杯に！

当日は寒さが厳しく、関東でも降雪が見られるような悪天候の中での出発となりました。道中の無事を祈りながら、皆で送り出しました。

地震による揺れと悪天候により弱った地盤の影響は広い範囲に及んでおり、行きに通れた道が、帰りは崖崩れで通行止めとなっていたそうです。ともすれば、事故に巻き込まれる恐れもある状況の中、皆の思いを届けてきてくれました。佐藤ブロック長、お疲れ様でした！！

商工会青年部は、通常は地元地域を盛り上げるべくイベント活動などを行なっておりますが、有事の際には、各地域が連携し「全国組織」として、地域をまたいだ支援活動を行います。今回の件は、商工会青年部員としても、改めてその組織力を感じることができた活動となりました。

女性部の防災活動

女性部は数年前から防災に取り組んでいます。

いざというときの為に、消防署で救命講習会を継続的に受講しています。また、有事の際、お客様・取引先・従業員・家族の安全を確保し、事業を維持するための計画、「事業継続力強化計画」の作成も行っています。

能登半島地震では多くの



水・保存食・オムツ・カイロ・ペットシート・お菓子など



みんなで積み込み作業



拠点倉庫に所狭しと物資が並び



雪の降る中、安全運転を心がけ



救命講習会の様子

被害が報告されています。私たちの地域でもいつ起こるか分からない災害に備えて、防災活動を継続していきます。今回の災害で教訓として足りないことが沢山あることに気づきました。災害時には、自分がまず逃げることと周りの人への声かけなど命を守る行動をすること、災害後に必要なものは何かなど、もう一度考えることが必要だと思いました。(佐久間)

こんな活動やってます！ 畳プロジェクト

5日で5000枚の約束。

災害時に、全国の畳店から避難所に新しい畳を無料で届けるプロジェクト
被災地の畳店が、全国の仲間から避難所に敷く畳を受け取るプロジェクト
 詳しくはこちら：災害時の避難所に新しい畳を無料で届けるプロジェクト「5日で5000枚の約束。」(tataminogakka.net)

能登半島地震では、今も避難所に沢山の人が身を寄せています。災害のたびにテレビ放送で流れる光景です。真冬の体育館や小学校の床に毛布では寒すぎます。

私達の業界では「5日で5000枚の約束。」を合言葉に、災害時に全国の畳店から避難所に新しい畳を無料で届けるプロジェクトを立ち上げ活動しています。このプロジェクトは働きかけに賛同した畳店、問屋、畳業界サポート企業、業界外サポート企業で構成しています。

「5日で5000枚の約束。」実行委員会

能登半島地震支援金

石川県能登地方を震源とする地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。当商工会では被害を受けた地域の商工会員、商工会及び連合会の復旧・復興支援を目的に

支援金を募集致しました。2月15日現在79014円の寄付が集まり、茨城県商工会連合会を通して、寄付させて頂きました。みなさまの温かいご支援、ありがとうございます。

福岡堰さくらまつり

3月に入り暖かい日が多く、心躍る季節となりましたね。市観光協会では毎年恒例の「福岡堰さくらまつり」を開催します。

開催期間 令和6年3月29日～4月2日

関東三大堰のひとつで、茨城県内屈指の桜の名所として有名な福岡堰桜並木。茨城百景、茨城観光100選にも選ばれた約1.8kmの桜並木と水面に映る桜は見たえ十分です。散り始めると、導水路の

花筏（はないかた）が風情ある光景になります。

まつり期間中の土日、さくら公園内グルメブースでは地元の名店が出店します。皆様のご来場お待ちしております。



2023年グルメブースと満開の桜

建設業部会視察研修

令和 6 年 1 月 15 日に新型コロナウイルスの影響で長らく延期していた視察研修を実施しました。最初に、『赤坂迎賓館』で西洋建築や美術品などを間近で鑑賞しました。各国の来賓を迎え入れる様子や晩さん会の様子をテレビで見ている空間に入ることが出来てとても感動しました。とにかく素晴らしい！後世まで引き継いでいきたいですね。



迎賓館にて

工業部会視察研修

工業部会では 1 月 19 日に JAXA (筑波宇宙センター) の見学ツアーに参加しました。筑波宇宙センター紹介映像から始まり、宇宙飛行士要請エリアの見学、「きぼう」運用管制室の見学をしました。「きぼう」とは地上約 400 キロメートル上空に建設された巨大な有人施設「国際宇宙ステーション (ISS)」の一部で、日本が開発を担当した実験棟のことです。



国立競技場にて

親睦ボウリング大会開催

1 月 17 日、土浦法人会つくばみらい地区会との共催で親睦ボウリング大会を開催いたしました。コロナ禍以来 4 年ぶりに開催することができ、会員企業の社長から従業員さんまで総勢 56 名の方にご参加いただきました。老若男女問わず思い思いに球を投げ和気あいあいと楽しんでる光景を見ると、またこのように開催できて本当に良かったと実感します。

稲葉運送株式会社の倉林百合子さんが総合優勝し、素敵な賞品をゲットしました。おめでとうございます。皆さん

住まいのお困りごと解決事業

部会事業として始まり 2 年が経過、2 月時点で 105 件のご依頼をいただいています。市民の皆さんがちよつとした家の修理を

どこに依頼したらいいかわからないとの連絡を頂くことが増えたので部会事業として立ち上げました。見積まで無料ですので、お気軽

こんなお悩みありませんか?
住まいのお困りごと解決!
住宅修理 機器交換 外構工事 お庭手入れ

内装工事 設備・リフォーム 屋根・外壁工事
電気工事 エアコン交換 水道・排水工事
防音対策 防虫対策 防湿対策
防カビ対策 防臭対策 防湿対策
防湿対策 防湿対策 防湿対策

つくばみらい市商工会 建設業部会
ご用命・お問い合わせは ☎ 0297-58-1700

にご相談ください。地元密着の事業所がしっかりと対応させて頂きます。※作業が発生した時点で有料となります。

新入会員紹介

紫峰社会保険労務士事務所
社会保険労務士 紫峰ケ丘
spa / hair 呼吸
美容業 台
美容室 台
平田外構 つくば市
外構工事 つくば市
HAIR SPA LUXY 紫峰ケ丘
美容室 紫峰ケ丘
農産物販売 寺畑
同横田プロジェクト



素晴らしいプレーでした。

来年度も新しい事業所からのご参加お待ちしております！
また、多くの賞品のご提供を頂きました企業様にも改めてお礼申し上げます。



春 夏 冬 中

十八年前の合併以来、広報委員長の立場で、無い知識を絞り出し原稿を書き続けてまいりましたが、お互いが助け合い支え合い励まし合う事、他国では紛争が絶えませんが人は平和を望んでいます。災害も争いも復興には時間がかかります。命の大切さは誰もが持ち続けています。安全で安心の出来る世界が来る事を願いつつ商工会も広報委員会も全力で春夏冬 中 (青木謙二)

クイズ・つくばみらい

Q: 今回もタジャレクイズです。「おやつが3じならあさごはんはなんじ?」正解者の中から抽選で10名様に、賞品をプレゼント。
あて先&しめくり
〒300-2341 つくばみらい市福田の7-1-2 つくばみらい市商工会クイズ・つくばみらい係 4月8日、はがき・FAX・Eメール可
前回の答: 「ソフトクリームの中にある秋の味覚はなぬ?」
「栗(クリ)・ソフトクリーム」
正解者は栗葉山・海老原勉さん、筒戸・村上ともさん 他
★住所、氏名、連絡先、本誌に対するご意見、(重要事項)明記してください。お待ちしております。

編集者のひんがし

2024年元旦、新しい年を迎えて家族で初詣や正月を祝っていた午後4時頃地震が起きた。能登半島地震だ。テレビの報道を見ると、広い範囲で家が倒壊し朝市で有名な一画が消失、山崩れで生き埋めになり、液状化や、津波の被害、十数年前の東日本大震災を思い出した。あの時商工会でも避難所に飲料水を届けたり、伊奈の総合体育館に避難している人に炊き出し(豚汁)をした。温かい食事でも少しでも安らいだ気持ちになってもうために心を込めて作った。全てを失った人は、何も考えられず1月1日、時が止まったままだと言った人がいた。それが現実だと思つ。これからは首都直下型地震や南海トラフ地震、富士山の噴火など、日本のどの地域で起るか分からないのです。自然には勝てない。
(栗原)